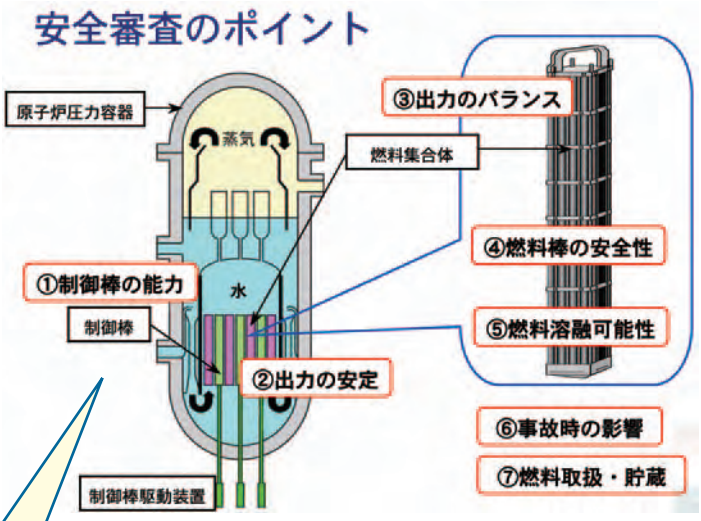
■協議会での質疑

プルサーマルに関する質疑

Q プルサーマルを実施することで、安全裕度が低下するのではないですか?

A プルサーマルの安全審査にあたっては、安全基準をクリアすることができるかどうかを、しっかりと確認しています。

安全基準というのは、安全の限界を示しているのではなく、安全上の余裕を持って出来上がっています。

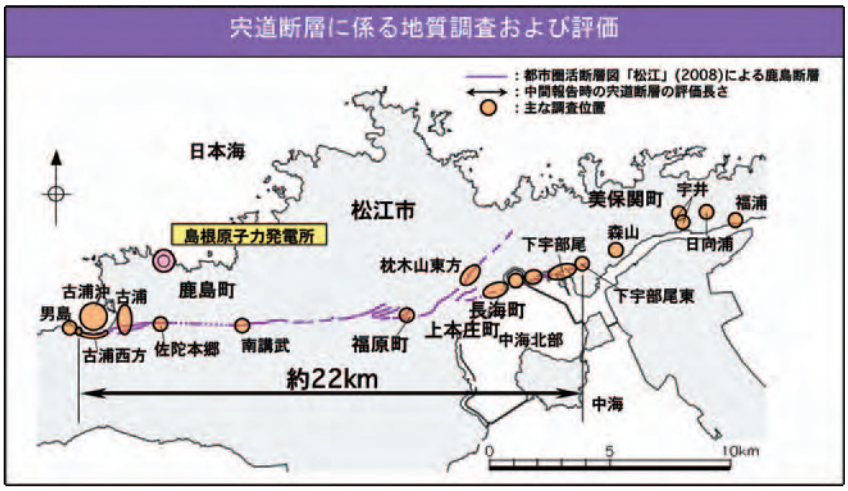


①制御棒の原子炉を止める能力は十分か
②出力が急激に変動したときうまく元に戻ろうとするか
③各々の燃料棒の出力の出方にアンバランスはないか
④燃料棒内にガスが異常に充満したり、出力が異常に上昇した時に燃料棒を傷めないか
⑤運転中に燃料が高温になり燃料が溶けないか
⑥事故を想定した場合に発電所周辺への影響はないか
⑦MOX燃料の取扱いや貯蔵は安全に行えるか

耐震安全性に関する質疑

Q 活断層調査が不十分だという意見がありますが?

A 活断層の評価にあたっては、トレンチ調査や変動地形学の知見なども踏まえた上で総合的に活断層の長さを妥当であると評価しています。



活断層の長さが変わってきていますが、活断層の見方を最大限不確実さも考慮した上で長さを決めていることが大きな要因です。

会議の議事録や配布資料等については、島根県原子力安全対策室ホームページに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。 → http://www.pref.shimane.lg.jp/genan/anntaikyo.html

島根原子力発電所の運転状況

[平成20年12月～平成21年2月]

	1号機 (46万kw)	2号機 (82万kw)
12月	原子炉定格熱出力一定運転 (ただし、2/3～2/4は、制御棒パターン変更※1に伴い出力低下)	第15回定期検査※2 (平成20年9月7日発電停止)
1月		
2月		

※1 原子炉の中にある制御棒の位置を変更するために、一時的に出力を低下させます。
※2 検査期間について、原子炉再循環系配管の取替え工事に伴い、平成20年12月中旬までの予定を、平成21年4月中旬までに変更しています。